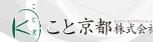


# ことねぎだより

NO.212

2025年1月号

TEL: 075-601-0668



KOTO GROUP  
4A



## こと京都人宣言

ことグループを創る、私たちの「らしさ」

- 一、相手が誰であれ、温かみのある笑顔で接します
- 二、お互いを認め合い、異なる考え方を排除しません
- 三、挑戦し続け、どのような状況でも楽しみながら成長します
- 四、問題は自分に原因があると考え、他人を責めません
- 五、落ちているゴミは拾い、困っている仲間がいたら助けます
- 六、全ての物事への感謝の心を、いつも忘れません
- 七、品格ある農業者となり、日本の農業新時代を開きます

新年あけましておめでとうございす。  
皆様におかれましては、新春を清々しい  
気持ちでお迎えのことお慶び申し上げます。  
こと京都の取組の一つの「昨シーズ」は、  
「農業生産力-Agricultural Productivity」です。  
今年は、原点に戻り、九条葱の生産に力を  
入れ更なる品質向上を目指しす。  
今年も宜しくお願ひ致しす。  
山田 敏詩

### 今月の ことねぎ

今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語（事）を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

### この季節の美味しさ感じる、冬葱のお届け

京都の夏を過ごし、例年にないほどの暑さを乗り越えて、秋頃からぐんぐんと成長し続け、ようやく冬の季節にお届けできることとなりました。畑で長い期間、京都の市内の畑で季節を越えて生命が紡がれてきた冬葱です。この季節の朝の厳しい冷え込みで、葱たちに届く冬の便りとして霜が降りています。



寒さで蓄えた「あん」も多く、葉の厚みもあり、全体的に重みを感じる冬葱です。熱を加える調理によって甘みをより強く感じる九条ねぎ、ぜひご賞味ください。

農人たちの畑での作業の様子、THE 農業!の現場の「こと」を発信

### 冷え込む時期、葱たちの過ごす環境は



京都北部の地域である美山・丹後の産地での12月は、それなりに多くの積雪となる地域。年内に一度の降雪もないまま、年明けに雪が降る年もありましたが、今回は12月中頃に美山地域で今シーズン初のまとまった積雪。積雪によって、畑のねぎたちが押しつぶされてしまうリスクがあるのでヒヤヒヤとしていたところ、案の定、一部収穫が難しくなっていました。しんと降り続ける雪も、積もるとねぎたちも重みに負けてしまいます。

京都市内・亀岡の産地では、引き続き12月いっぱいも被覆作業を急ピッチで進めました。寒風吹きすさぶ畑の中、農人たちは防寒装備を厚く着用。美山ほど積もらないと想定はしていますが、雪や霜害から貴重な冬葱たちを守ることができればと思います。

12月中頃の第一寒波において美山エリアの畑が積雪の様子。倒伏した箇所もあり、ここから更に積もると救出が難しい。



とある日の農人日記。

12月中旬、美山での朝。畑の近くの山に雪がうっすら積もっていました。収穫作業をしているところから見える範囲に、キツネが餌を捜していたり、日向ぼっこをしていました。(収穫班・井上)



●ことグループの日本一シリーズについて  
毎年ことグループスタッフ全員で「今年はこのテーマで日本一と言われるように取り組もう!」と決めている目標です。  
昨年は「ワクワク」を掲げました。長雨や台風、異常気象など自然環境に悩まされることが多くありましたが、そんな中でも前向きに、できることをと、楽しむことを心掛けられました。